



学校だより

あなたのみちも、
あるけるまち。 **ハ王子**

【ハ王子ブランドメッセージ】

令和8年1月30日 No.12

八王子市立東浅川小学校

〇すすんで学びます 〇心を磨きます 〇体を鍛えます

地域と共に歩む、子供たちの豊かな学び

～「冬楽校」へのご協力ありがとうございました～

副校長 宮田 好恵

雪の降る2026年の幕開けとなりましたが、早いもので1か月が過ぎました。先日、学校運営協議会主催の体験活動「冬楽校（ふゆがっこう）」が開催されました。

- 1・2年生： ボッチャ体験（パラスポーツへの親しみ）
- 3年生： 車いす体験（福祉・共生の心）
- 4年生： 命の授業（自他の生命の尊重）
- 5年生： AED体験（救命の基礎知識）
- 6年生： 職業EXPO（キャリア教育・将来への展望）

学校運営協議会をはじめ、保護者ボランティア、陵南中学校生徒、八王子市スポーツ振興課、社会福祉協議会、高齢者あんしんセンター、民生委員、八南助産師会、東浅川地区の各職業の専門家の皆様に、多大なるご協力をいただきました。この場を借りて深く感謝申し上げます。専門性豊かな方々との交流を通じ、授業とはまた違う、子供たちの生き生きとした表情が印象的でした。

本校は「地域と共にある学校づくり」を掲げるコミュニティ・スクールです。1学期の「なかよし映画会」、2学期の「漢字検定」、そして3学期の「冬楽校」と年間を通じて地域の力を教育活動に繋げています。来年度も、学校・家庭・地域が知恵を出し合い、子供たちの成長を支えていければ幸いです。

【大切なお願い】教職員の働き方改革へのご理解について

令和7年9月24日にもお伝えしましたが、本校では「教員の働き方改革」を推進しております。教員が教育活動に専念し、一人ひとりの児童と向き合う時間を確保するための取組です。以下の点について、改めてご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 勤務時間について

本校の標準的な勤務時間は 8：15～16：45です。

※育児や介護等により、開始・終了時刻を前後させている職員もおります。

2 ご連絡のタイミングについて

勤務時間外は、担任と連絡が取れない場合がございます。緊急時を除き、翌日以降の勤務時間内でのご連絡をお願いいたします。

<電話対応・欠席連絡・個人面談>

- 1 学校の電話対応は、18：00までです。
- 2 欠席連絡は、原則として連絡アプリ「Home&School」をご活用ください。
- 3 個別面談等についても、勤務時間内での実施にご協力をお願いいたします。

子供たちの豊かな学びを継続するため、今後とも本校の教育活動へのご理解をよろしくお願い申し上げます。

学校評価 結果のお知らせ

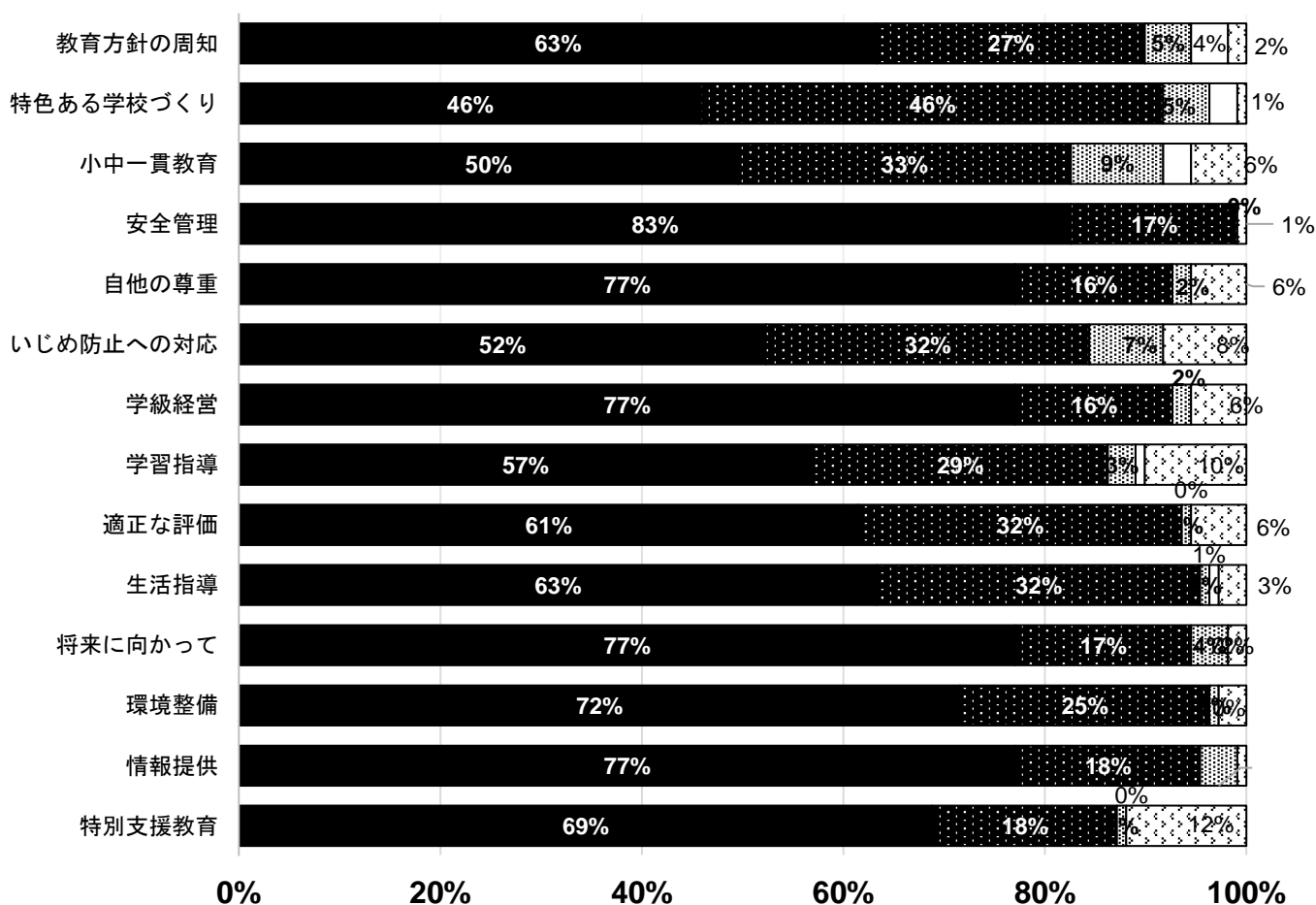
日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

遅くなりましたが、12月に保護者の皆様にご協力いただきました「後期学校評価アンケート」を集計し、その結果と今後改善していくことなどをまとめました。自由意見につきましてもお答えさせていただきました。結果につきましては真摯に受け止め、今後の教育活動につなげてまいりたいと思います。

令和7年度後期学校評価(回収数109名 回収率20.6%)

保護者学校評価

■あてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない □あてはまらない □わからない



※「あてはまる」「ややあてはまる」を概ね肯定的な評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を改善が必要な評価と捉え、見解を述べさせていただきました。

☆ 比較的、肯定的な評価を多くいただいた項目

【特色ある学校づくり】 92% 【安全管理】 99% 【自他の尊重】 93%
 【学級経営】 95% 【適正な評価】 93% 【生活指導】 95%
 【将来に向かって】 94% 【環境整備】 97% 【情報提供】 95%

★ 改善が必要な評価をいただいた項目

【教育方針の周知】 89% 【小中一貫教育】 83% 【いじめ防止への対応】 84%
【学習指導】 86% 【特別支援教育】 87%

これらの項目については、「あてはまる」、「ややあてはまる」の評価がわずかながら90%以下となっています。これらの課題を分析し、保護者、地域の皆様に信頼される学校づくりを目指していきます。

【自由記述より】

○意味のないルールだと感じるものがあるので、適切なルールと統一性をもたせたルールの施行を願います。

・学級ごとのルールの不統一について、「アウターの収納場所」や「着用禁止の条件」など学級によって異なっている状況は、学校組織としては適切ではありません。全教職員で協議の場をもち、学校全体で統一したルールの運用を行っていきます。暖房を使用するタイミングについてもご意見をいただきましたが、気温や児童の状況に合わせ、柔軟に使用するようにしていきます。

○運動会が下の子（幼稚園）と重なってしまう、全員を見てあげられないのが、親として心苦しいです。頑張っても取り組んでも見てあげられない、見てもらえないとわかっている子供もやる気がなくなるきっかけになってしまいます。

・本来、ご家族が揃ってお子様の成長を見守る機会であるべき行事において、このような状況となり心苦しい思いをさせてしまい大変申し訳ございません。学校行事の日程は、地域行事との調整や過去の実施時期などを踏まえて決定しております。近隣の園とも情報共有に努めておりますが、関係する保育園・幼稚園は、20園近くあります。日程に際しては、保・幼・小の連携・情報共有にさらに努め、一層配慮できるよう検討してまいります。諸条件の重なりにより、結果として重なってしまうこともありますことをご了承いただければと思います。

・「親が見に来られないから、やる気がなくなるのではないか」というご懸念について、担任とも情報を共有し、学校全体でフォローしてまいります。保護者の方がいらっしゃる時間帯も、お子様が孤独感を感じないよう、教職員が積極的に声をかけ、頑張りを認める言葉がけを徹底いたします。たとえ当日、直接ご覧いただけない時間があっても、お子様が学校で練習を積み重ねてきた努力は決して消えるものではありません。私たち教職員は、ご家族の代わりにはなれませんが、当日のお子様の「一番の応援団」として、全力でサポートしていきます。

○知らされた保護者会の時間が違い、参加した際に困惑しました。

・お便りによって開始時刻の記載が異なっていたことは、学校側の確認不足です。ご参加くださった際に、遅れて到着されたことへの配慮や資料の案内が欠けていたということも配慮ができておりませんでした。今後、発行するすべてのお便りにおいて、複数の教職員による「トリプルチェック」をさらに徹底し、表記の統一を図ります。また、受付時や開始後の案内体制についても、どの保護者様も困ることのないよう全教職員に周知いたします。

○先生が使用された表現に、子供がとても落ち込んだことがありました。

・お子様が教員の言葉で傷つき、他の児童に対しても同様の表現が使われているという事態を重く受け止めております。教員が教育の場において使用する表現は、たとえどのような意図があっても、ときとしてマイナスの効果を生んでしまうことを一人一人の教員に強く認識させ、不適切な表現を改めるようにしていきます。教職員には、学期に1回ずつ服務研修を行っておりますが、管理職も定期的にクラスの様子や授業風景を確認し、適切な言葉がけがなされているか注視していきます。

○学年便りを紙でもらえるようにしてもらいたいです。

・学年だよりの配付形態について、現在、本校では八王子市が推進する学校DX（デジタル・トランスフォーメーション）および環境負荷軽減の観点から、お便り類のデジタル配信（ペーパーレス化）を基本としております。ご家庭の状況によっては「紙の方が掲示しやすく、予定を確認しやすい」「端末を開く手間なく家族で共有したい」といったご要望があることも十分に承知しております。学校といたしましては、ICTの活用を進める一方で、保護者の皆様とのコミュニケーションに「壁」ができてしまつては本末転倒です。今後も、より確実に利便性の高い情報共有の在り方を模索していきます。

○授業がなかなか進まなかったり、連帯責任でボールが使えなかったり、子供たちの中で不満に思っている子がいる話を聞きました。

・学級運営に関する貴重なご意見です。授業の進行や休み時間のルールに関し、児童の間に不満や戸惑いが広がっているというお話については、重く受け止めております。学校としては、個別の配慮が必要な児童への支援を行いながら、他の児童の学習機会や活動が制限されないよう十分留意していきます。また、担任が一人で抱え込むのではなく、学年主任や専科教員、支援員等による組織的なサポートを強化し、クラス全体に目が届く環境づくりに努めてまいります。

○担任の先生によって置き勉をしてよい先生や、置き勉は許さずお道具箱を机の上に出して帰らせる先生がいます。置き勉の判断は難しいですが、宿題だけ持ち帰るのではダメでしょうか。今夏のように猛暑の中、そこそこの距離を歩く様子は修行のようでした。

・文部科学省からも、児童の身体的負担を考慮した「置き勉」の活用が推奨されています。担任の裁量によってつねに「全部持ち帰り」を強いることは、現在の学校方針とは合致いたしません。あらためて教職員と情報を共有し、状況に応じては宿題以外の教材は学校に置いて帰るなどの対応をとるようにします。全学年で統一した指導となるようにします。

・「お道具箱を机の上に出す」という指導が、お子様や保護者様にとって「見せしめ」のように感じられている点は非常に深刻なものと捉えています。生活習慣を身に付けさせるための指導は、本来、自尊心を傷つける形で行うべきではありません。指導の目的と手法が適切かどうかを見極め、お子様たちが心理的にも安全に過ごせる教室環境を整えてまいります。

○給食着の柔軟剤の匂いに親が耐えられません。給食当番の子供たちがマイエプロンと三角巾の持参ではダメですか。

・お子様が個人のエプロンを持参し、共用の給食着を着用せずに当番活動を行うことを全面的に許可いたします。給食着の管理については、マイエプロン等の使用許可とします。「ご家族等の体調管理上の理由により、個人持ちのエプロンを使用する」児童がいることを、学校全体で共有し、お子様が気兼ねなく当番活動ができるよう配慮いたします。

○子供が学校へ行くのが嫌になるような、耳を塞いでしまいたくなるような大きな声で怒るような授業はしないでください。

・ご指摘いただいた点につきまして、学校として厳正に対処してまいります。学校は児童が安心して学ぶ場であり、感情に任せた大声での指導や、児童を萎縮させるような言動は、不適切な指導であると認識しております。管理職が改めて学校全体で改善を図ります。

○個性を抑え込むような指導はしないでください。

・枠に当てはめ、個性を抑え込むような指導は、児童の豊かな感情を奪ってしまうことにもつながりかねません。様々な授業を好きな時間として感じられるよう、授業計画や指導案を再確認し、児童一人ひとりの表現を肯定し、伸ばす授業へと改善していきます。

○今年度の算数単元テストの結果が、採点支援ソフトの導入でオンラインで閲覧するようになった事について、その効果(対先生、対児童、対学力等)を、現段階で学校としてどう評価しているか知りたいです。提出したテスト用紙がそのまま返却される事が、子供にとってどうなのか、どこか不安がよぎります。テストは採点だけでなく、どの子がどこで躓いているかなどを把握しフォローする事も必要だと思いますが、そこは家庭でという事であれば、しっかりそう周知して欲しいと思います。今年度からテスト結果をオンライン配信にしますという連絡だけでは、全く放置しているご家庭もあるのではという気がします。

・今年度より導入いたしました「算数単元テストのオンライン返却（採点支援ソフト）」について、非常に鋭く、かつ建設的なご指摘をいただきました。3年は国語・算数、6年は国語・算数・理科・社会、4年・5年は算数のみ使用しています。新しい試みゆえ、ご家庭に不安やお手間をおかけしている点について、現状の評価と今後の対応を回答させていただきます。

1 採点支援ソフト導入の効果と学校の評価

教員側：採点時間の短縮により、放課後や休み時間に児童と向き合う時間や、個別のフォローアップ教材を作成する時間を生み出すことができております。

児童・学力面：デジタル化により「どの問題の正答率が低かったか」が、即座にデータ化されるため授業中での学び直し（全体補習）をよりの確に行えるようになりました。

一方で、ご指摘のとおり「返却されたテスト用紙に直接教員の指導がない」ことによる、児童の達成感や振り返りの質の低下については、慎重に検証すべき課題と捉えております。

2 学習フォローの所在について（「放置」の懸念への対応）

「テストは家庭でフォローすべきものか」というご懸念についてですが、学校としては「つまずきの把握と指導は、第一に学校の責任」であると考えております。オンライン配信はあくまで「結果の共有」の迅速化を目的としたものであり、指導を家庭に丸投げする意図はありません。今後はどのようなフォローをできるか、「例：類似問題の配布・ぐんぐんタイム・習熟の時間」を活用しながら、授業を始めとする様々な機会を捉え、子供たちの学習の習熟の状況を把握し、学習の定着に努めていきます。あわせて、デジタル返却のスピード感と、教員によるアナログな丁寧な見守りを両立させた形を目指していきます。今後とも、新しいシステム運用への率直なフィードバックをいただけますと幸いです。

○感染症についてですが、校内で流行り始めた段階で保護者に共有していただけると助かります。発熱等で医療機関を受診すると流行っている病気を尋ねられ、それによって検査の有無が決まることが多いです。

・医療機関の受診時に「学校での流行状況」が診断の大きな判断材料になるという点は、保護者様の切実な視点であり、学校としてもその情報の重要性を改めて認識いたしました。これまでは一定数を超えてからの「学級閉鎖のお知らせ」が主な周知となっておりましたが、受診のタイミングに間に合わないという課題があったかと存じます。校内での感染症の流行が心配される状況になった段階で、Home&Schoolを通じて、速やかに保護者の皆様へお知らせするようにします。情報の共有と同時に、校内での手洗い指導の強化、換気の徹底など、流行を最小限に食い止めるための措置を講じてまいります。学校、ご家庭、そして医療機関がスムーズに連携しながら、子供たちの健康を守り、校内での感染拡大を防ぐことに努めていきます。

※学校評価のアンケートは、毎年、7月と12月に行っております。今回、ご回答いただいた数は、109件でした。ご回答していただいた割合が全体の20.6%となり、前回（20.5%）とほぼ変わりませんでした。ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。今後もさらに学校からのお便り等で呼びかけるなどして多くの皆様からご回答いただけるよう努めてまいります。引き続き学校教育に向き合っていただき、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

【重要】令和8年度（2026年度）の教育活動・行事予定について

令和8年度の教育環境の整備および行事運営のため、以下の通りお知らせいたします。

1 児童数の把握へのご協力（学級編成準備）

正確な学級数や教員定数を算出するため、早めの把握が必要です。

転出予定：令和7年度末までに転居等で転出される場合は、お早めに学校へご連絡ください。

転入情報：周囲で本校への転入予定者をご存知の場合も、速やかにお知らせください。

2 創立50周年記念行事

本校は、令和8年度に創立50年目を迎えます。

記念式典・集会：令和8年 10月31日（土）

その他： 航空写真撮影など

3 授業時数と給食実施回数の確保に向けて

八王子市教育委員会からの指示も踏まえて、以下のような対応をとります。

①月曜日と金曜日の時間割編成（授業時数）の入れ替え

月曜日：全学年 5時間授業

金曜日：1～3年生 5時間 / 4～6年生 6時間授業

②夏季休業期間の変更

夏季休業日：7月25日（土）～8月27日（木）

※令和7年度は夏季休業中に行った個人面談は、1学期中の7月21日（火）～7月24日（金）の午後に実施します。

③給食実施日の拡大

一部をのぞいて、始業式・終業式の日にも給食を提供します。

1学期終業式：7月24日（金）

2学期始業式：8月28日（金） 2学期終業式：12月25日（金）

3学期始業式：1月8日（金）

4 学年だよりの廃止

学年だよりでお知らせしていた内容を精選し、学校だよりに掲載します。

2月の行事予定



		行 事 等
1	日	
2	月	安全指導 ふれあい月間③始 たてわり班遊び⑤ 習熟の時間【1・2年】
3	火	児童朝会 ぐんぐんタイム
4	水	小中一貫教育の日 5時間授業【全】（下校14:30）
5	木	校外学習【4年】
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	保育園・幼稚園交流 習熟の時間【1・2年】
10	火	児童朝会 校外学習【3年】
11	水	
12	木	校外学習【5年】
13	金	避難訓練（清掃中）
14	土	
15	日	
16	月	習熟の時間【1・2年】
17	火	ALT授業 校歌合奏団引き継ぎ式（集会時） ぐんぐんタイム
18	水	委員会活動⑩（2月計画）
19	木	薬物乱用防止教室【6年】
20	金	児童集会
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	児童集会 ぐんぐんタイム
25	水	クラブ活動⑪ クラブ体験②・5時間授業【3年】 音楽鑑賞教室【1～4年】
26	木	4時間授業【1・2年】 平和の語り部【6年】 新1年生保護者会・学校説明会
27	金	ふれあい月間③終 ALT授業 音楽クラブ発表（中・昼休み）
28	土	

※1月30日（金）現在の予定ですので、今後の状況によって変更されることもあります。変更がありましたら Home&School や HP でお知らせいたします。

生活指導目標 ものを大切にしよう
持ち物スタンダード
給食指導目標 日本の食文化を知ろう
保健指導目標 やけどに気をつけよう

学年の窓（4年生）

4年生担任

3学期の総合的な学習の時間では、『わたしたちの町の「防災」について考えよう』という単元で、東京工業高等専門学校と連携して授業を行いました。学生さんが開発したアプリを使って、地域の安全な場所や危険な場所を調べるためにフィールドワークを行い、地域安全マップにまとめました。今後、完成したマップをもとに下級生への発表も予定しています。

学校公開の日に行った「命の授業」では、助産師さんから命に関する貴重なお話を聴く機会がありました。私たちが生まれるには、両親の存在があります。その両親にもお父さん・お母さんがいると考えると、私たちが生まれてくることはすごく運命的・神秘的であることや赤ちゃんがどうやって生まれてくるかなどを熱心に教えてくださいました。子どもたちは、真剣な表情でお話を聴いていました。様々な活動を通して子供たちの学びを深めています。

専科の窓

音楽専科

寒さの厳しい日が続いていますが、音楽室には子どもたちの歌声や楽器の音が元気に響いています。音楽の授業では、歌うことや演奏することだけでなく音楽を聴いて感じたことや思ったことを大切にしながら学習を進めています。また、仲間の音や声に耳を傾け、心を合わせて表現することで、音楽をつくり上げる楽しさを味わえるように取り組んでいます。

2月は、一年間の学習のまとめの時期です。これまでに身に付けてきた力を生かしながら、友だちと協力し、音楽を通して達成感を味わえる授業を大切にしていきたいと考えています。

これからも、音楽が子供たちの心を豊かにし、次の学年へ向かう学校生活の支えとなるよう、丁寧な指導を続けてまいります。

5・6年生は、校歌合奏団引き継ぎ式に向けて、休み時間を中心に、一生懸命練習をしています。高学年としての自覚をもち、学校のために取り組む姿からも大きな成長を感じています。